

『神々の黄昏』登場人物関係図

20/03/08作成

(参考) 小学館『魔界の物語』増刊号4の解説

出てくるキャラクター
結婚の子モツ関係

天上の神族

神々の終末を予感
→ 居城ウラルハウにトネリコの薪を積み上げる。
→ フリコンヒルデの放った火は城に燃え広がる

ヴォータン
主神

イルダ
(知恵の女神)

男神
(不詳)

女神
(不詳)

フリッカ
(結婚の女神)

姉妹

フリス
(美の女神)

ローグ
(火の神)

ドンナ
(雲の神)

ドー
(雷神の神)

ノルンの三姉妹
(A, MS, S)
(運命の女神)
名過去・現在・未来をつかさどる。

ブリュンヒルデ(S)
ワルキューレの姉妹

ワルトラウテ(MS)
ワルキューレの一人

忘れ薬を飲んだ
ジークフリートに意中の人
復讐を決定
→ ジークフリートの死後、
その遺骨を火葬し、その灰を...

神々の終末を
四騎の1匹は指環を
ラインの娘たちに見せ
しめようとする

ラインの娘たち
(S, MS, A)
妖精

地元の巨人族
7人兄弟
大蛇に
なつて
指輪を
守るが
ジークフリートに
倒れる

7人兄弟
神々の
城を
築き
共に
居る

人間

人間の女性
(不詳)

兄妹

フンテング

ジークフリート

ジークムト

双子の妹

双子の兄

(ブリュンヒルデ) (ギーゼヒ)

ハーゲン(B)
指環を得る
と
策謀
→ ジークフリートと
グンターを殺す

異父弟

グンター(B)
ギーゼヒの家
主。
ブリュンヒルデと
結婚するが
ハーゲンに殺
される。

グートルネ(S)
ハーゲンの用意した
毒薬をジークフリートに
飲ませる

ジークフリート(T)
ブリュンヒルデと
結婚した後
ラインの娘と
結婚
ギーゼヒの家を訪問
ハーゲンの罠に...

偽結婚

あらみじ

序幕

- 3人のノルン
- オーケストラによる
夜明けの音楽
- ジークフリートは妻ブリュンヒルデに
指環を託す。
- 「ジークフリートのラインの旅」

第1幕

- ライン河畔 ギーゼヒの館
 - ハーゲンは父アルバリヒからの
世界制覇の野望を持つ
 - グンターとグートルネに偽結婚
の提案
- グートルネ → ジークフリートに薬を
のませる
- ハーゲンは1人残って「見張りの歌」

第2幕

- 夜、ギーゼヒの館。
 - アルバリヒとハーゲンの会話
 - ジークフリート 帰郷
いぶかるグートルネ
 - 初めて合唱が登場
ギーゼヒの家来たちが集まる
 - グートルネと「夫」ジークフリート
が現れ、ブリュンヒルデ 驚く
ジークフリートは本来の妻がわが子、指環と預かる!

第3幕

- 夜、ラインの娘たち
 - 角笛の動機。
ジークフリートの武勇伝。
ハーゲンの差し出した
飲み物を飲む
→ ジークフリートの背中を刺し
殺害
 - 「ジークフリートの義送行曲」
 - ギーゼヒの館にハーゲンは
ジークフリートの亡骸を → グートルネへ密着
- ハーゲンとグンターで指環の
所有権を争う → グンターを殺す。
ブリュンヒルデ、妻の真相を知り
指環を奪うところ。
 - 夫・ジークフリートの亡骸を火葬し
灰に指環をのせて身と
投じる。「ブリュンヒルデの自己犠牲」
 - 父は神々のいる天上界も
燃やすす。
 - 愛による救済の動機を
奏して 幕